

USフォーラム 2024

(静岡県立大学学術フォーラム)



— 静岡県立大学 —
— 静岡県立大学短期大学部 —

研究要旨

教員特別研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	大学体育における初級者のテニス技術を向上させる心理教育指導の試み	薬	准教授	窪田 辰政
2	アウトリーチ研究事業「漢方の基礎学習と薬草園見学会」2023	薬	教授	渡辺 賢二
3	充実した薬剤師国家試験対策の実現を指向した教育環境の改革	薬	教授	尾上 誠良
4	生きたデータを価値ある情報に変換し、迅速な意思決定を可能にする薬学人創生教育	薬	教授	近藤 啓
5	静岡県のニーズにあった人材育成の確立を目指した異分野融合教育プログラムの開発	薬	教授	森本 達也
6	PBPMに基づく抗がん薬の治療管理能力を醸成する実務実習	薬	教授	賀川 義之
7	研究マインドを持った臨床薬剤師養成のための教育プログラムの実践とアウトカムの評価	薬	教授	伊藤 邦彦
8	薬剤師のタスクシフト/シェアの推進を目指したワクチン接種への教育法の実践-シミュレータとVRコンテンツの組み合わせた実習法の開発	薬	教授	内田 信也
9	夏休みファーマカレッジ2023	薬	准教授	柏倉 康治
10	O-グルコース型糖鎖修飾による Notch 活性化機構の解析	薬	教授	竹内 英之
11	ヒトパラインフルエンザウイルスの感染予防をめざした食品成分の探索	薬	准教授	高橋 忠伸
12	生活習慣病がアルツハイマー病発症リスクを増加させる原因の解明	薬	講師	南 彰
13	糖鎖生物学を基盤としたノロウイルス感染を制御する宿主分子の探索とその機能解析	薬	助教	紅林 佑希
14	化学構造情報を利用した毒性評価手法の開発	薬	教授	吉成 浩一
15	乳がんの予防法・治療法の改善に向けた核内受容体PXRの機能解析	薬	助教	保坂 卓臣
16	カンデサルタンシレキセチルによる胆管がん進行抑制作用の機序解明	薬	講師	志津 怜太
17	植物フラボノイドの膵β細胞オートファジーに対する効果	薬	教授	石川 智久
18	三量体Gタンパク質からアプローチする糖尿病治療薬のシーズ探索	薬	准教授	木村 俊秀
19	膵β細胞賦活フラボノイド類の構造活性相関に基づく新規糖尿病治療薬の開発研究	薬	講師	金子 雪子
20	静岡県特産物由来PENsの抗線維化作用機序の解析	薬	助教	山口 桃生
21	ナノ粒子受容体分子を標的とした脂質ナノ粒子製剤に関する基盤研究	薬	教授	浅井 知浩
22	新型コロナウイルス感染の重症化により発症する敗血症の治療薬開発	薬	准教授	小出 裕之

No.	テーマ	学部	代表者	
23	肝臓X受容体リガンド・ウアバゲニンの新規脂質代謝モジュレーターとしての可能性	薬	講師	米澤 正
24	抗薬物抗体に対する高親和性DNAアプタマーの獲得とADAアッセイへの展開	薬	教授	轟木 堅一郎
25	ヒト皮膚における表皮内局在が見出された低分子化合物の同定	薬	助教	杉山 栄二
26	カルニチンおよび類縁体の高感度かつ高選択的なキラル分離分析法の開発	薬	助教	古庄 仰
27	ヘテロ芳香族化合物の直接的官能基化反応の開拓	薬	教授	滝田 良
28	大腸がん抑制作用を示すジオスゲニンの機能解明を志向した有機合成化学的アプローチ	薬	准教授	吉村 文彦
29	フェアリー化合物を基盤とする新規誘導体の合成研究	薬	助教	大内 仁志
30	静岡産植物を由来とする大腸がん抑制物質の開発	薬	特任教授	長田 裕之
31	薬用植物ゲノム情報と遺伝子異種発現システムを用いたアルカロイド系化合物の創出研究	薬	准教授	佐藤 道大
32	近位依存性ビオチン標識法を活用した難発見二次代謝遺伝子の探索法の開発	薬	講師	岸本 真治
33	類縁体合成と生物活性評価を基盤とした新規DHODH阻害剤の創生	薬	助教	渡邊 正悟
34	ナノ粒子設計技術の戦略的応用によるサクラエビ由来機能性成分の生物薬剤学的特性向上	薬	准教授	佐藤 秀行
35	溶解性改善技術の適用によるミカン由来難水溶性機能性成分の生物薬剤学的特性向上	薬	助教	山田 幸平
36	マイクロ流体デバイス法を用いたポリマー/ペプチド共集合化ナノ粒子調製技術の確立と粒子物性解析	薬	准教授	金沢 貴憲
37	バイオプリンティング技術の応用に向けた有機物-無機物複合体の造形特性の検討	薬	講師	照喜名 孝之
38	高血圧治療を目指した静岡県データベースの構築	薬	教授	森本 達也
39	生活習慣病予防を指向した微生物発酵茶の臨床効果の検討	薬	講師	刀坂 泰史
40	心筋梗塞後の心不全の進展における不飽和脂肪酸EPA・DHAの効果検討	薬	講師	砂川 陽一
41	心不全の進展に重要な心肥大を抑制する漢方薬の探索	薬	助教	浜辺 俊秀
42	薬物誘発性不整脈評価のばらつきの要因について	薬	教授	黒川 洵子
43	培養筋萎縮・筋障害モデルに対するゲラニルゲラニオール作用解析	薬	准教授	坂本 多穂
44	腎臓刷子縁膜上膜タンパク質をターゲットにした膜プロテオームデータ解析法の検討	薬	助教	清水 聡史
45	新規開発電子的デバイスによる服薬アドヒアランス測定並びに服薬指導への応用の検討	薬	特任教授	山田 浩
46	分岐型ヘキシルデシルリン酸-アルギニン複合体ナノ粒子を用いた経皮吸収剤の薬物皮膚浸透性改善メカニズムの検討	薬	講師	内野 智信
47	アルツハイマー型認知症患者における治療薬の至適投与設計の構築	薬	助教	谷澤 康玄
48	神経炎症関連因子のうつ病診断・治療効果判定マーカーとしての有用性	薬	准教授	井上 和幸
49	CDK4/6阻害薬による有害事象発現と生存期間との関連性の検討:多機関共同コホート研究	薬	講師	辻 大樹

No.	テーマ	学部	代表者	
50	慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者におけるriociguatのリアルワールドでの薬物動態およびバルーン肺動脈形成術による影響評価	薬	講師	三浦 基靖
51	小児患者への臨床応用を目指した院内製剤スルファメトキサゾール/トリメトプリム含有グミ製剤の開発	薬	助教	河本 小百合
52	トリベンゾオキセピンの新規一段階合成法の開発	薬	教授	眞鍋 敬
53	開放系カルボニル化反応における塩基の機能解明に基づく反応機構解析	薬	准教授	小西 英之
54	FFA2受容体機能解明と過敏性腸症候群(IBS)治療を目指したFFA2モジュレーター合成研究	薬	講師	岩本 憲人
55	1 <i>H</i> -ピロール類の位置選択的アリアル化と多置換ピロリジン類およびピロリン類への変換	薬	助教	山口 深雪
56	DNA複製に着目したディフィシル感染症治療の構造生物学的な展開	薬	教授	橋本 博
57	大腸がんの新たな治療戦略に向けたタンパク質構造基盤	薬	准教授	原 幸大
58	がん細胞の増殖を促進する転写因子の不活性化機構に関する構造機能研究	薬	講師	菱木 麻美
59	慢性肝疾患の治療に向けた創薬シーズの探索と作用機序解明に関する有機化学的研究	薬	教授	濱島 義隆
60	超原子価ヨウ素試薬を用いる生体内酸性官能基修飾反応の化学選択性に関する研究	薬	准教授	江上 寛通
61	溶解性・吸収性改善を指向したノビレチンのイオン液体化に関する研究	薬	准教授	稲井 誠
62	二環性フッ素化ピリミジンの誘導体化と ¹⁸ F-PET標識化への応用	薬	助教	山下 賢二
63	膜張力感知機構の多様性による骨格筋線維再生機構の全容解明	薬	教授	原 雄二
64	新規PIEZO1阻害低分子化合物SC560の掻痒に対する有効性の検証	薬	助教	鈴木 美希
65	細胞膜中の屈曲した「あぶら」に着目した健康長寿戦略	薬	助教	村上 光
66	腸内細菌によるマクロファージ制御を介した血管バリア機能促進機構の解明	薬	教授	梅本 英司
67	腸内細菌代謝産物によるパイエル板貪食細胞の抗原取り込み促進作用の解析	薬	助教	中西 勝宏
68	静岡県産食品素材を用いた下部尿路症状を改善する機能性食品の開発	薬	特任教授	山田 静雄
69	褐藻類抽出エキスの非感染性膀胱炎への応用	薬	講師	伊藤 由彦
70	ヒトI _{Ks} チャネルのインストラクトーム解析による心筋興奮終焉期の再分極—弛緩同期システムの検証	薬	助教	児玉 昌美
71	イオンモビリティ質量分析と分子シミュレーションの統合によるタンパク質の立体構造解析	薬	助教	淵上 壮太郎
72	母体腸内細菌叢による胎児発育機構の解析	薬	准教授	大橋 若奈
73	創薬研究を指向したキサントニン類の変換反応の開発	薬	助教	近藤 健
74	生体システムを利用した臓器指向性DDSの基盤構築とその実装	薬	助教	疋田 智也
75	化学構造情報及びインビトロ試験情報を利用した類似性評価に基づく新たな薬剤性肝障害予測手法の開発	薬	教授	吉成 浩一
76	核内受容体PXR活性化作用に注目した肝がん治療薬の探索	薬	講師	志津 怜太

No.	テーマ	学部	代表者	
77	肝臓における炎症時アデノシン動態変化のNASH進行シグナルとしての可能性	薬	教授	石川 智久
78	ADMA代謝促進による膵β細胞保護薬の開発研究	薬	講師	金子 雪子
79	化合物データベースを用いた構造活性相関研究に基づく肝線維化治療標的分子の探索	薬	助教	山口 桃生
80	新規LNP技術を用いた脾臓へのmRNA送達に関する基盤研究	薬	教授	浅井 知浩
81	タンパク質の細胞内送達・疾患治療を可能にするバイオミメティックリポソームの開発	薬	准教授	小出 裕之
82	腸内細菌が産生する大腸がん新規リスク要因コリバクチンの発がん機序解明と予防法の確立	薬	教授	渡辺 賢二
83	天然物の生合成機構を基盤としたプロテアーゼ阻害剤の創製	薬	准教授	佐藤 道大
84	非晶質固体分散体が形成する水和ゲル機構解明がもたらす製剤設計のパラダイムシフト	薬	教授	近藤 啓
85	BRG1による心不全発症メカニズムの解明	薬	教授	森本 達也
86	男女差を考慮した新規心毒性評価系の開発	薬	教授	黒川 洵子
87	敗血症における性差決定因子の同定と発現調節機構の解明	薬	准教授	坂本 多穂
88	分子標的薬オンメルチニブの体内動態と有害事象発現に関する探索的臨床研究 [部局・分野横断的研究]	薬	教授	賀川 義之
89	フツ化ピリミジン系抗がん剤誘発性手足症候群患者の角層の構造および組成の分子レベル評価	薬	講師	内野 智信
90	血清中修飾ヌクレオシドのがんバイオマーカーとしての有用性の検討	薬	教授	伊藤 邦彦
91	ステロイドを含まない新規制吐レジメンに対するレスポンドの探索研究	薬	講師	辻 大樹
92	硫黄原子の価数の自在制御を実現する硫黄導入型高選択的有機合成反応の開発	薬	准教授	小西 英之
93	リーディング鎖のDNA合成に必要なクランプローダーの構造研究に向けたタンパク質生産	薬	教授	橋本 博
94	リン酸化修飾による染色体凝縮促進メカニズムの構造生物学的解明	薬	准教授	原 幸大
95	環状RNAから合成される脳腫瘍抑制タンパク質の構造生物学的研究	薬	講師	菱木 麻美
96	医薬品のリード化合物として期待されるロバタミド A の合成研究	薬	准教授	稲井 誠
97	オーファンGPCRを活性化する腸管内の環境因子由来分子の同定と腸管恒常性への寄与の解明	薬	助教	中西 勝宏
98	タイスラナリー工科大学との大学間協定を基盤とした研究・学生交流の活性化	薬	講師	南 彰
99	協定締結・交流協定締結を目的とした台湾国立清華大学との共同研究	薬	教授	渡辺 賢二
100	日独加連携による薬用天然物のシンセティックバイオロジー	薬	特任教授	長田 裕之
101	国際交流推進を通じたインドネシア・バンドン工科大学との共同研究プロジェクト	薬	教授	森本 達也
102	カリフォルニア大学デービス校と協同で行うCOIL型教育によるDX人材育成支援	薬	教授	黒川 洵子
103	日本学術振興会 国際交流事業 研究拠点形成事業	薬	教授	渡辺 賢二

No.	テーマ	学部	代表者	
104	本学のSDGs活動の推進	食品	教授	谷 晃
105	2学科共通科目である物理学実験の受講者増への対応	食品	准教授	本同 宏成
106	次世代型管理栄養士実践演習プログラムの構築および多職種連携専門職のキャリア形成を促す事業の展開	食品	教授	新井 英一
107	有機リン酸エステルにより誘引されるコリンエステラーゼ阻害能の増強に関する研究	食品	教授	牧野 正和
108	転写因子FOXO1を標的とした2型糖尿病予防のための新規機能性食品素材開発	食品	教授	三浦 進司
109	児童の朝食摂取状況に基づく異なる対象者への朝食指導介入による教育効果の検討	食品	教授	桑野 稔子
110	食・住環境におけるアルデヒド類の曝露と老化に伴う炎症性蛋白質SASP分泌との関係	食品	教授	伊吹 裕子
111	糖化ストレス誘導性炎症における黄色ブドウ球菌の影響	食品	教授	増田 修一
112	透析患者の予後改善に向けて;血中ビタミン値と栄養指標との関係に注目して	食品	教授	保坂 利男
113	豆乳の食感を決めるレオロジー特性に及ぼす加工条件の影響	食品	教授	下山田 真
114	微生物のMn(II)酸化プロセスを利用した無機元素同時回収法	食品	教授	谷 幸則
115	ニホンウナギの完全増養殖の高度化に資する育種のための基盤整備:卵形成誘導の分子基盤の解明	食品	教授	小林 亨
116	気候変動に対応したワサビ苗生産技術の開発	食品	教授	谷 晃
117	静岡県に生息するニホンジカの食資源化に関する研究 ー捕獲地域の異なるシカ肉の胃内容物と食肉特性の関連の検討 および新たなシカ肉製品の開発・評価ー	食品	教授	市川 陽子
118	茶葉に含まれる総ポリフェノール分析のための簡易的比色法の検討	食品	教授	熊澤 茂則
119	静岡県下の社会教育活動における地域と学校の連携に関する実践的研究	食品	教授	角替 弘規
120	キノコ産生成成分スチリルピロン類の合成法開発と成長調節活性評価	食品	教授	江木 正浩
121	上皮バリアタンパク質欠損ラットにおける表現型解析	食品	准教授	林 久由
122	化学的性質が類似したレアメタル(白金族同士)を分離する革新的手法の開発	食品	准教授	永井 大介
123	静岡県の特産品「自然薯」の有効成分ジオスゲニン高生産	食品	准教授	三好 規之
124	非アルコール性脂肪性肝疾患患者の肝線維化・脂肪沈着に対するリノール酸代謝物HYAの有効性の検証	食品	准教授	細岡 哲也
125	内臓神経を介したエネルギー代謝調節機構の解明並びに健康増進への応用	食品	准教授	内田 邦敏
126	静岡県産バイオマスからのファインケミカルの発酵生産	食品	准教授	原 清敬
127	機能性成分を付加したチャ(茶)の創出を目指すゲノム編集技術の整備	食品	准教授	田村 謙太郎
128	静岡県産黒毛和牛肉と代替肉におけるフレーバーリリースの比較解析	食品	准教授	伊藤 圭祐
129	県産キノコ類(椎茸・舞茸)で発現する有用酵素群の性質決定を容易化するクローン化・発現プラットフォームの構築	食品	准教授	河原崎 泰昌

No.	テーマ	学部	代表者	
130	外食・中食店舗における「健康な食事」提供の実現可能性の検討	食品	講師	串田 修
131	静岡県特産自然薯・むかごの調理・加工に関する検討 —自然薯の高齢者食への展開、自然薯を用いた家庭料理の継承、未利用むかごの新規加工—	食品	講師	江口 智美
132	駿河湾におけるプラスチック吸着有機汚染物質の実態解明	食品	助教	野呂 和嗣
133	茶浸出液残渣(茶殻)を用いた乳酸発酵機能性食品の検討	食品	助教	斎藤 貴江子
134	疾患対応型献立提案アプリケーションを用いた栄養介入効果の検討	食品	助教	榛葉 有希
135	静岡県名産イチゴ含有エラグ酸の腸内代謝物ウロリシン類の骨格筋萎縮抑制効果	食品	助教	吉岡 泰淳
136	ニシキギ科植物の含有成分に関する研究	食品	助教	藁科 力
137	皮膚に対する微生物由来代謝産物のアンチエイジング効果	食品	助教	島村 裕子
138	家庭用ゲーム機に含まれるプラスチック添加剤の包括的なリスク評価	食品	助教	徳村 雅弘
139	転写因子FOXO1を標的とした筋再生・筋肥大を促す新規機能性食品素材の開発	食品	助教	佐藤 友紀
140	未利用有機資源を活用した昆虫生産系の確立	食品	助教	大原 裕也
141	可視光で駆動する新規重合性モノマー類の合成と応用	食品	助教	岡本 衆資
142	トマト由来抗酸化色素高含有製剤の開発	食品	助教	村上 和弥
143	原料米品種が清酒品質に及ぼす影響	食品	助教	本田 千尋
144	ワサビの放出する香気成分の放出動態及び害虫防除法の探索 —減農薬社会に向けた戦略的研究—	食品	助教	増井 昇
145	静岡県内の環境試料を用いた未培養微生物の分離培養及び生理生態機能の解析	食品	助教	梅澤 和寛
146	消毒副生成物ヨード酢酸とADP-リボシル化、DNA損傷修復阻害との関係	食品	助教	小牧 裕佳子
147	南伊豆産 海底熟成ワインの風味および成分特性の解析	食品	助教	寺田 祐子
148	咀嚼・嚥下調整食の新しい調理方法の探索 —スチームコンベクションオープンでの再加熱が主食・主菜の品質に及ぼす影響—	食品	助教	大槻 尚子
149	静岡ガス(株)ビオトープ内に生息するマシジミの新規生息地拡大による資源量の安定確保とその増大法の確立	食品	助教	明正 大純
150	みかん含有フラボノイド類の短工程合成法開発と機能性探索研究	食品	助教	繁田 堯
151	食事組成およびビタミンD含有量の違いがビタミンD代謝動態におよぼす影響の検討	食品	助教	川上 由香
152	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献	食品	特任教授	若林 敬二
153	静岡県立大学ならではのお茶によるアイデンティティの向上	食品	特任教授	中村 順行
154	「ふじのくに」みらい共育センターにおける「地(知)の拠点」としての分野横断型ウェルビーイング研究・地域貢献活動の推進	食品	特任教授	合田 敏尚
155	褐色脂肪細胞でのカルシウムイオンによる熱産生制御機構の解明	食品	助教	岩瀬 麻里

No.	テーマ	学部	代表者	
156	食事から摂取する脂肪酸種が骨格筋のミトコンドリアの質を制御し、運動トレーニング効果を加速させるのか？	食品	教授	三浦 進司
157	地球温暖化による皮膚温度の上昇と皮膚がん増加の関係—熱によるDNA修復分子の液-液相分離とシャペロンの役割—	食品	教授	伊吹 裕子
158	食事間隔の延長による食後血糖悪化の病態生理の解明	食品	教授	保坂 利男
159	生活習慣病病態で変動する腸管内分子の探索	食品	准教授	三好 規之
160	代謝的な健康的肥満と不健康肥満とを制御するメカニズムの解明	食品	准教授	細岡 哲也
161	細胞内局所温度変化を感知する機構とその意義の解明	食品	准教授	内田 邦敏
162	バイオプロダクションに資する微生物のエネルギー代謝改善法の開発	食品	准教授	原 清敬
163	誘導型細胞小器官による植物免疫機構の解明	食品	准教授	田村 謙太郎
164	”肉”を判別するAIの開発	食品	准教授	伊藤 圭祐
165	市販ポリウレタンフォームなどの室内イソシアネート汚染ポテンシャル評価	食品	助教	野呂 和嗣
166	AIを用いビフィズス菌産生ペプチドが腸内細菌叢に与える影響を明らかにする	食品	助教	藤浪 大輔
167	車室内空気中未規制物質のノンターゲット分析を用いた網羅的リスク評価スキームの構築	食品	助教	徳村 雅弘
168	血中プラズマローゲン分子種の網羅的解析によるNASH診断・予防バイオマーカーの探索	食品	助教	佐藤 友紀
169	人口減少と災害に起因する消毒副生成物による健康リスクの解明—消毒副生成物ヨードアセトニトリルによる4倍体細胞の出現とその機構—	食品	助教	小牧 裕佳子
170	ナトリウムおよびカリウム摂取状況を把握する指標としての尿Na/K比の有用性の検討	食品	助教	川上 由香
171	立体構造・遺伝子・アミノ酸配列データベースを活用した蛋白質デザイン法の開発と実証研究	食品	准教授	伊藤 創平
172	ベトナム産プロポリスの有効利用を目指した成分分析と機能性評価	食品	教授	熊澤 茂則
173	農作物の種子の寿命を延ばす分子機構	食品	准教授	田村 謙太郎
174	ヒト匂い物質結合タンパク質を介した嗅覚知覚メカニズムの解明	食品	准教授	伊藤 圭祐
175	中国シーサンパンナにおける樹木の昆虫による食害がBVOC(植物由来香气成分)放出に及ぼす影響と生態的機能の解明	食品	助教	増井 昇
176	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と男女共同参画拠点連携事業に関する基礎研究	国際	教授	犬塚 協太
177	東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデート(その2)	国際	教授	奥蘭 秀樹
178	European Studies の研究ツール開発に関する研究(6)	国際	教授	栗田 和典
179	ノースカロライナ州立大学とのCOIL型教育の継続とその教育的効果に関する研究	国際	教授	澤崎 宏一
180	交流協定校カリフォルニア大学パークレー校での共同研究の成果を生かした国際教育の推進	国際	教授	澤田 敬人
181	国際関係学部の英語カリキュラムの流れと難易度レベルの検討	国際	教授	須田 孝司

No.	テーマ	学部	代表者	
182	多様な価値と対話するボアジチ大学との交流事業	国際	准教授	佐藤 真千子
183	ボアジチ大学と連携したトルコ理解の促進(日本・トルコ100周年記念企画の準備)	国際	准教授	佐藤 真千子
184	日本語運用技術力の向上のための実践的教授法	国際	准教授	竹部 歩美
185	コロナ禍におけるヨーロッパ地域研究と学習支援③	国際	准教授	森 直香
186	スコットランド・ゲール語を教授言語とする学校教育の実践に関する研究—ウェールズ語の取り組みと比較して	国際	准教授	米山 優子
187	非法学部学生に対する法教育のあり方に関する検討:法に対する意識の向上	国際	講師	石川 義道
188	多様なマイノリティとの共生を推進する教育に関する研究	国際	講師	二羽 泰子
189	第一次世界大戦期アメリカにおける海外戦場墓地巡礼についての歴史社会学的研究	国際	准教授	望戸 愛果
190	日本語を母語とする英語学習者による非対格動詞の過剰受動化の誤りに関する研究	国際	助教	岡村 明夢
191	オーラルヒストリーによる韓国知日派知識人に関する研究(続)	国際	教授	小針 進
192	学際的グローバリゼーション研究をめぐるハブ化の推進	国際	教授	澤田 敬人
193	外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援(第5期)	国際	教授	高畑 幸
194	Polycrisisに直面する世界と静岡県経済・企業への持続可能性への影響	国際	教授	古川 光明
195	文学の地域資源としての活用——駿河・伊豆エリアⅡ	国際	教授	細川 光洋
196	河井家文書と日本政治(河井重蔵・弥八を中心に)	国際	教授	前山 亮吉
197	戦時・戦後期における啓蒙運動とメディア	国際	教授	森山 優
198	日本の高校生にSDGsを英語で教える「Ideas into Action」	国際	准教授	デイハーン ジョナサン ウィリアム
199	移民受け入れ国の比較研究—東南アジア看護師・介護士の環流の視点から	国際	教授	米野 みちよ
200	法廷通訳の現状と課題:負担の軽減のために必要な施策の検討	国際	准教授	坂巻 静佳
201	先住民研究の潮流と東南アジアにおける山地研究の理論的枠組みの構築	国際	教授	米野 みちよ
202	医用画像処理を体験的に学べる環境の整備	経情	助教	小田 紘久
203	不確実性下の意思決定における確率、時間、エントロピーの関係の検討	経情	准教授	玉利 祐樹
204	反転学習とハイフレックス型の組み合わせによるアクティブラーニング・プログラムの開発	経情	教授	上野 雄史
205	動画作成による学生の情報発信力の育成と大学広報基盤の推進	経情	教授	渡邊 貴之
206	地域医療に関わるマーケティング問題の研究	経情	教授	岩崎 邦彦
207	大学と地方自治体の協働政策研究による「人財」育成	経情	教授	小西 敦
208	持続可能な介護サービスの開発と提供に向けた今後の展開と諸課題の解決の検討	経情	講師	天野 ゆかり

No.	テーマ	学部	代表者	
209	静岡県内の観光パンフレットにみる観光資源の位置づけと領域イメージ	経情	教授	内海 佐和子
210	海外メディアにおける静岡の認知度向上	経情	教授	竹下 誠二郎
211	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施における自治体スキームの構築に関する研究	経情	教授	東野 定律
212	在宅における看護と介護の連携に関する研究	経情	講師	木村 綾
213	静岡県経済の構造的課題と健康関連産業を事例とした産学連携のあり方	経情	教授	岸 昭雄
214	お茶を活用したガストロノミーリズムによる茶産業に関連するコミュニティの活性化～静岡市の茶町と清水港周辺につながるインバウンド観光コンテンツの創造～	経情	准教授	カウクルアムアン アムナー
215	国際共同研究を通じたクリティカルアカウンティングの確立に向けた取り組み	経情	准教授	森 勇治
216	地域名士の企業家に関する研究	経情	教授	落合 康裕
217	政策過程における知識活用に関する研究	経情	講師	松岡 清志
218	ICTイノベーション研究センターを基盤とした産官学民連携活動の推進に関する研究	経情	教授	武藤 伸明
219	静岡における社会的課題に応える社会保障政策など地域政策研究	経情	教授	藤本 健太郎
220	統計的時系列モデルを用いた降雨による地すべり予測	経情	講師	井本 智明
221	自立型防災通信ステーションでの低軌道衛星インターネット活用に関する研究	経情	教授	湯瀬 裕昭
222	プロジェクト・ベースド・ラーニングを活かした地元企業との協働プロジェクト	経情	准教授	国保 祥子
223	ポストコロナを見据えた静岡県観光戦略の調査研究	経情	教授	大久保 あかね
224	相対的な動作軌跡の自動分割を用いた手作業工程における手順誤りの検出システム	経情	助教	相良 陸成
225	ヨーロッパと日本の国際推進事業のプログラム化の開発:連携から協働	経情	教授	上野 雄史
226	コロナ禍で基礎看護教育を受けた看護師の卒後支援に関する研究	看護	教授	林 みよ子
227	成人看護学領域におけるがん看護学に関する教育プログラムの検討	看護	教授	山田 紋子
228	農業体験の導入によるメンタルヘルス向上プログラムの開発	看護	教授	篁 宗一
229	これからの時代で求められる高機能シミュレータを用いた教育方法の検討	看護	教授	田中 範佳
230	看護ケアにおける看護師の前腕の汚染に関する実験的検証	看護	准教授	加藤 京里
231	教育用電子カルテを2年次実習の事前学習に取り入れた学習効果	看護	講師	管原 清子
232	視機能の維持と健康寿命の延伸を可能とするアイケアの確立	看護	助教	三沢 萌伽
233	慢性腎臓病(CKD)の診断基準となるeGFRシタチンおよびeGFRクレアチニンをパラメータとした定量的評価指標の検討	看護	教授	荒井 孝子
234	感染予防実践者に求められるリーダーシップ能力:コンピテンシーと変革型リーダーシップ行動の関連	看護	教授	操 華子

No.	テーマ	学部	代表者	
235	訪問看護師の思考と臨床判断を培う看護継続教育プログラムの開発	看護	教授	富安 眞理
236	静岡県における地域在住高齢者のフレイルの実態とフレイル予防活動の効果	看護	准教授	永谷 幸子
237	地域における更年期女性の健康に関する意識の現状と健康支援の検討	看護	准教授	永谷 実穂
238	Claudin-15 knockout mice, a potential model of lipodystrophy	看護	助教	ヘムストック ウェンディ リアン
239	壮年期がん療養者の男性配偶者に対する看取り期の訪問看護支援	看護	助教	長谷部 美紀
240	多環芳香族化合物の多様な環境リスクの追跡	看護	助教	三崎 健太郎
241	妊娠期からの助産所助産師との交流が女性の妊娠・出産・子育てに与える影響－他施設で出産する女性に焦点を当てて－	看護	助教	大和田 裕美
242	静岡県において医療的ケア児等コーディネーターが行う未就園児の家族支援における課題	看護	助教	長屋 和美
243	静岡県立大学看護学部・看護学研究科における国際看護教育と研究環境の構築	看護	教授	竹熊 カツマタ 麻子
244	終末期高齢者の在宅での看取り支援に関する研究－静岡県における自宅死亡に関する実態－	看護	助教	植田 春美
245	精神科看護師の患者に対する怒りの感情に関する研究	看護	助教	小泉 祐貴
246	開業助産師が考える「待つお産」のとらえ方	看護	助教	池田 美音
247	自己導尿に関するYouTube [®] 動画の検討と自己導尿指導動画作成	看護	助教	佐藤 理乃
248	母親の乳房に負担をかけない搾乳技術習得のためのシステム構築に向けた調査－熟練助産師の搾乳時に手指、手掌にかかる圧力部位の同定と概算値の測定－	看護	准教授	中川 有加
249	大学看護英語教材のマルチモーダル分析－内容理解を促す視覚教材を探る－	言コミ	特任講師	相羽 千州子
250	Outlining as a method to bridge students' input comprehension and output performance	言コミ	特任講師	Arshavskaia, Ekaterina
251	大学教育におけるICT活用と英語プレゼンテーション授業－授業改善による英語コミュニケーション力の向上を目指して－	言コミ	特任講師	田中 裕実
252	聴覚的・直感的な言語・身体トレーニングとその教育的含意——SPAC俳優による演劇ワークショップをとおして	言コミ	特任講師	小田 透
253	患者の行動変容を導く動機づけ技法の修得を目指す対人援助型コミュニケーション能力育成プログラム	短大	教授	仲井 雪絵
254	模擬患者 (Simulated Patient:SP) 参加型シミュレーション教育の学修効果および方略の検討	短大	准教授	長谷 由紀子
255	シーティング実践のための教育課題	短大	准教授	木林 身江子
256	移動支援のための福祉用具の使用実態と課題	短大	助教	大石 桂子
257	保育者養成課程における「子ども理解」を深める教育的取り組みに関する研究-学生の学びにつながる園の実践事例の活用-	短大	助教	崔 美美
258	歯周炎における歯根膜破壊の抑制及び悪性腫瘍細胞の転移の阻止を目的とする基礎的研究	短大	教授	吉田 直樹
259	地域で防災と福祉が連携する西豊田インクルーシブ防災活動の実践研究	短大	准教授	江原 勝幸
260	実効性のある少子化対策についての考察	短大	准教授	中澤 秀一

No.	テーマ	学部	代表者	
261	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)階層別研修プログラムの開発に係る調査研究-派遣支援活動のプロセス分析と研修教材開発-	短大	教授	鈴木 俊文
262	親子関係向上のためのワークシートの開発に向けて	短大	教授	小林 佐知子
263	「手で見る」鑑賞方法についての研究	短大	教授	藤田 雅也
264	保育者の資質向上のための教育プログラム構築	短大	准教授	副島 里美
265	わらべうた「どちらにしようかな」の静岡県内の地域性の調査	短大	講師	山本 学
266	腸オルガノイドを用いた栄養素吸収機能の測定	短大	准教授	竹下 典子
267	健康寿命の延伸に有効な活動とその限界に関する探索的研究	短大	教授	松井 順子

学部研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	ポストコロナ時代に向けた学際的薬学研究と薬学人材育成	薬	教授	橋本 博
2	グローバルな薬学研究・教育基盤の発展的構築	薬	教授	竹内 英之
3	令和5年度食品栄養科学部改革推進費	食品	教授	伊吹 裕子
4	食品栄養科学部における学部発展のための教育改革と研究推進	食品	教授	増田 修一
5	食品栄養科学部および大学院食品栄養科学専攻・環境科学専攻学生への就職支援	食品	教授	増田 修一
6	部局高等教育の活性化 ― 研究成果発表の推進と分析機器の保守	食品	教授	三浦 進司
7	ポートランド州立大学夏期英語研修プログラムのための基礎調査	国際	教授	澤崎 宏一
8	静岡における海外文化の発見 ― ポスト・コロナ時代の国際関係学の模索②	国際	准教授	宮崎 晋生
9	海外授業及び海外フィールド・ワークの実践(継続)	国際	教授	小針 進
10	伝統武術・スポーツのグローバル化と社会的影響に関する領域横断的研究	国際	教授	奈倉 京子
11	ムセイオン静岡を通じた地域一体型教養教育モデルの構築	国際	特任教授	富沢 壽勇
12	国際関係学部オープンキャンパス実施に関する研究	国際	准教授	森 直香
13	国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究	国際	准教授	田村 敏広
14	イノベーション研究に資する環境整備	経情	教授	六井 淳
15	中期計画の実施に関する研究能力の強化	経情	教授	竹下 誠二郎
16	看護教育における初年度科学教育と専門教育の連携について ―基礎健康科学演習を含めた初年度教育の充実と専門教育への橋渡しモデルカリキュラムの提案―	看護	教授	井上 健一郎
17	コンケン大学看護学部および米国他大学の国際交流に関する研究	看護	教授	山下 早苗
18	看護教育質保証に向けた取り組みと人材育成・リカレント教育の推進	看護	教授	山下 早苗
19	地域住民と地域の看護者との交流を生かした看護者基礎教育の推進	看護	教授	富安 眞理
20	歯科衛生学科の将来構想につなぐ教育改革の推進	短大	教授	吉田 直樹